

自己評価および外部評価結果結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所は認知症高齢者の法令を理解し、独自の理念を持っている。利用者一人一人がその人らしく生活できるよう管理者、職員共に理念を共有し、理念の実現に努めている。	母体法人の理念「陽気ぐらし」「たすけあい」を基に事業・運営されている。	生活に貧窮した方々への気持ち・理念から「低額入居費」を実践されている。今後も継続される事に期待します。
2	(2)	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会、老人会地域活動の場へパンフレットを配りホームの事をわかって頂けるよう努力し、公民館の活動も知らせて頂き、参加できるものは参加している	グループホームと地域の方々との近所付き合いを基盤に、交流・支援を受けられている。	地域公民館との交流を今後も継続される事を望みます。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	現在特に活動はないが、お世話になっている地域に少しでも恩返しができるよう努めます		
4	(3)	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に関き、報告や話し合いを行っている。また実際にサービスの向上につながっている	年5回の運営推進会議には職員の全てが参加し外部の意見を聞くように努めている。	運営推進会議を活用し、実務的な議題はもとより、運営やサービスの向上を議題に検討頂きながら、グループホーム側の思いを更に理解いただけるよう期待します。
5	(4)	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の行事等又、ホームでの行事も連絡し合っている。密に連絡を取り合いよりよいサービスを提供できるよう努めたい	市との連携に積極的に努めている。	問題が無い時の報告・連絡・相談が、問題発生を事前に防止できる要諦だと思います。今後の継続を望みます。
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員間で勉強会を行い身体拘束について学び、決して拘束がないようケアをしています	現状では身体拘束の事例・必要性はない。	グループホームの特性から馴染まない事と思いますが、各事例毎で対応が違うと思いますが、備えと、心構えは必要だと思います。今後も期待します。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員間で勉強会を行い虐待について学び、決して虐待がないよう努めています		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員は勉強会で学び、管理者は研修を受け必要な人には活用し、また、活用できるよう支援しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	グループホームいこいの里 次のステップに向けて期待したい内容
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際十分な説明をし、納得された上で印を押して頂き、契約を結んでいます		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご利用者やご家族より意見が聞けるよう意見箱を設置し気兼ねなく意見を頂けるよう対応している	意見箱の設置は有るが、利用事例はない。	意見箱には入れ難い等様々意見が有るかと思う。しかし効果が無ければ、意見が言い易い環境・事業所側から聞き取る為の配慮等を、更に検討いただく事に期待します。
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	特に場を設けてはいないが、その都度話し合いをし、必要なことは反映させている	意見交換し易い雰囲気を感じた。管理者が常に話し易い事を念頭に動いている様に感じた。常に必要に応じて対処している事が職員面接の中で話があがった。	話し合いの内容によっては公式な話し合いは必要と思います。内容は必ず記録に残し後で客観視する事も有効と思います。問題が無いときにも話し合い記録に残す事へ取り組む事を期待します
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	雇用時に出来るだけ勤務しやすいよう、また、やりがいを持って勤務できるように話を聞くようにし、雇用後も働きやすいよう環境や、条件の整備に努めている		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者、職員がよりよいケアを提供できるよう、継続研修を年間1回以上受けるよう規定に定め研修を受ける事を推進しています		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームとの管理者、職員が交流する機会を持ちサービスの質を高められるようしている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の安心と、関係づくりが一番大切な時期ですので、ご本人の思い、ご家族のお話をよくお聞きし、ご本人の思いを受け止めていけるよう心がけている		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の悩み、不安に思っていることをよくお聞きし、少しでも不安が和らぐよう、また、安心して入所して頂けるよう努めています		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご家族、ご本人の事情をよくお聞きし、ホームで出来るサービスを検討し、ご本人、ご家族に必要なサービスを第一に他のサービス利用も含めた対応に努めています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	グループホームいこいの里 次のステップに向けて期待したい内容
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームの理念にあるように、職員、ご本人が共に喜びをもって過ごし、お互いにたすけあい、お互いに感謝し合いながら日々を大切に過ごせるよう努めています		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人と、ご家族の生活歴や、事情をよく理解して、よりよい関係が続くよう努めています		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族はもちろん、ご友人等が気軽に訪問して頂けるよう努めています。また、ご本人が描いた絵手紙を送り、関係の継続を支援しています	絵手紙を拝見しましたが見事で、関係の継続に効果的でした。	絵手紙をご家族も毎週参加されているとの事。家族はもちろん友達が気楽に立ち寄れる環境をこのまま継続して下さい。
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	それぞれの生活が違ってきたので、そのことを理解し、共に生活する者同士孤立することなく、関わり合いをもてるよう支援しています		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後もご相談等に応じています。また解約時にその旨をお伝えすることで退所後もフォローできるよう努めています		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人の希望、またこれまでの暮らしをよくお聞きし意向を把握できるよう努めています。また困難な場合でも少しでもご本人の思いに添えるよう検討している	家族アンケートから、利用者及び家族を通してよく把握されている。	具体的な内容を、家族に戻して頂くことにより効果があると思います。取り組む事を期待します。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族、関係者よりお話を聞き、またアセスメント等情報の把握に努めています		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員それぞれが生活の中で観察し、情報を共有し一人ひとりの現状の把握に努め、また適切なケアが出来るよう努めています		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、関係者、と話す機会を持ち、また、職員の気付いたことや意見等から計画書を作成しています	本人・家族・関係者で話し合い、職員の意見を入れつつ計画を作成されている。	アセスメント・センター方式などの手順をシステム化して、ムラの無い精度の高い計画を作成して行くことに期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	グループホームいこいの里 次のステップに向けて期待したい内容
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりの経過記録と、申し送りノートで情報を共有し、ケアへの実践に活かし、またそれを計画書の見直しに活かしている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	それぞれの状況、ニーズをよく見極め、必要な場合には他のサービスも含めご本人、ご家族にとってよりよいサービスへの支援ができるよう努めています		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方に絵手紙を教えて頂き、作品を家族や、知人に送ったり、地域の文化祭で発表させてもらったりすることで、楽しみと目標を持って取り組めるよう支援しています		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	地域のなじみの医師に主治医をして頂き、定期的な往診で事業所はもちろんな入所者も安心しております。また、これまでかかりつけ医への受診もご家族にも協力していただきご本人の希望に添えるよう支援しています	協力医が往診をされているが、本人及び家族の希望を尊重し、自宅時でのかかりつけ医への受診へもされている。	協力医が親身になって診療され、利用者・家族・事業所の安心に繋がっている。今後もこの関係性を維持して頂く事を望みます。
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	かかりつけの看護師、また法人の看護師に相談等、連絡を取り合い、状況に合わせた対応が出来るよう努めています		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院された際は病院関係者、ご家族と連絡を取り合い情報の交換等、ご利用者、ご家族が安心して治療できるよう努めています。また協力医療機関にはそうした場合に備えて対応して頂けるよう関係づくりをしている		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご利用者の状態の観察、把握に努め、ご利用者の思いを家族、医師と話し合い、よりよい終末を迎えられるように支援しています	事業所で出来る範囲で終末期を静かに迎えられる様に支援をしている。併設の支援センターも終末期の方の受け入れる場として機能している。6名という定員数で利用者への気持ちへの影響も大きく状況に応じながら医療・併設支援センター連携している。	家族等気持ちの揺れ動きは致し方無いと思います。事業所として出来ない事等明確する事も必要と思います。検討頂くことを期待します。
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応として勉強会をし、また日々の申し送り等で注意点や、その時の対応等を話し合い、実践できるよう備えています		
35	(13)	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	災害時の対応として役割分担や、行動をマニュアル化し備えている。また、運営推進会議にて地域の協力をお願いしています	併設の支援センター・地域等協力出来る環境である。	実践的な訓練を想定して取組んで頂く事に期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	グループホームいこいの里 次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員間で一人ひとりの対応を確認し、その人を尊重した言葉かけや対応をしています	利用者の状況を確認しながら、言葉掛けや対応をしている。	利用者を思いやり、尊重した言葉掛けを、今後も継続する事を期待します。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	言葉がけなどで、ご本人の思いや、希望を引き出せるよう工夫し働きかけています		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	これまでの暮らしを把握し、できるだけ一人ひとりの生活リズム、希望に沿って、その人らしく暮らせるよう支援しています		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	その人らしさを尊重し、言葉かけや洋服選びなど支援をしています		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べる事が困難にならないよう、調理や食器を工夫している。また、お膳立てや片づけなどそれぞれ出来る事をして頂いています。	現在の利用者の状況から準備・調理等厳しいと思われるが、季節の食材を使いながら季節を感じられるよう工夫がされていた。	準備等は厳しいと思われませんが、季節の物を取り入れる心がけを継続する事を期待します。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの既往歴や、今までの暮しと、現状を把握しそれぞれに応じた支援をしています		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	いつまでも美味しく食事が出来るよう、言葉がけや見守りをしています。また状況によって介助をしています		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	なるべくトイレで排泄できるよう一人ひとりの排泄パターン、身体機能を理解し、おむつや失敗を減らすよう心がけています。	排泄リズムを理解・感じる事に心掛けている。現実として夜など本人が安心して眠る為におむつ対応する等状態に応じて支援を行っている。	今後も利用者の心と心身機能を考えながら、利用者の気持を尊重し支援を継続する事を期待します。
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	職員間で学ぶ機会を持ち、献立の工夫、水分補給、体操など自然に排便できるよう取り組んでいる。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	グループホームいこいの里 次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	できるだけ個人のタイミングに合わせて、安全に安心して入浴できるよう支援している。時には季節の行事等に合わせた薬湯を楽しんでもらっている	利用者一人ひとりの要望に配慮しながら実施している。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活のリズム、状況に応じ、その人が気持ちよく休息、睡眠をとれるよう支援している		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や、薬局からの説明、資料をもとに個々にファイルを作成している。職員全員が把握し、また学ぶ機会を持ち理解に努めている。変化がある場合は医師に相談している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	掃除、洗濯、お膳立て等生活の中で出来る事をしていただき、それぞれに張り合いや、楽しみを持って生活できるよう支援している。また、レクリエーションや季節の行事で気分転換が出来るよう支援している。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ご本人の希望でご家族と出かけられる方もいらっしゃいますが、ほとんどの方は日常的な外出は少なく近所への散歩にとどまっている。	利用者は年々状態が厳しくなっており、現在はベランダ・近所・周囲の庭のお散歩程度の外出になっている。	利用者の状態などで変化すると思います。必要とあればボランティア等の外部関係者の協力要請も手助けになるかと思えます。取組んで頂くことを期待します。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人がお金を持つことの大切さを理解しています。本人が悲しむ事がないよう本人や、家族の意向、現状を話し合い本人の希望に添えるよう支援しています。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取り次ぎを希望された場合対応している。また、絵手紙を描きご家族や、友人に送る支援をしています。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	シンプルな間取りで分かりやすくなっています。また、季節の花や、それぞれの作品等を展示しています。	木をふんだんに使い優しく温かな雰囲気が漂っている。共有空間には、毎週ボランティアで絵手紙の講師が教えてくれた作品が飾られている。1枚1枚が居心地の良さ・ほっとする雰囲気を演出している。	これから今の雰囲気を大切に継続して頂く事を期待します。
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人でもそれぞれが過ごせるよう支援しています。また、気のあったご利用者同士が隣になるよう工夫しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	グループホームいこいの里 次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	それぞれの居室は馴染みのタンスや家具でご本人にとって居心地がよく、安心して生活できるよう支援しています。また安全に過ごせるよう工夫しています。	利用者それぞれの思いのある家具を置き、自室の入口にはそれぞれ違う暖簾が掛けられ、個性が窺えた。自室の目印にもなっている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	部屋割りも含め、一人ひとりが安心して安全に過ごせるよう工夫しています。また、レイアウトを工夫しご本人の自立を支援しています。		